

第1回 真駒内駅前地区まちづくり地域協議会

会 議 記 録

1 開催概要

日 時 : 平成31年2月4日(月) 18:30~21:00

場 所 : 南区民センター2階 視聴覚室A・B
(南区真駒内幸町2丁目2-1)

参加者 : 21名(欠席2名)

事務局	: 札幌市まちづくり政策局都市計画部長	阿部芳三
	札幌市まちづくり政策局都市計画部地域計画課調整担当課長	大山浩司
	〃 調整担当係長	下國久臣
	〃 担当職員	辻口勇介
	(運営支援 株式会社 K I T A B A)	

配布資料 : 資料1 本日の流れ、意見交換の進め方

資料2 真駒内駅前地区まちづくり地域協議会 名簿

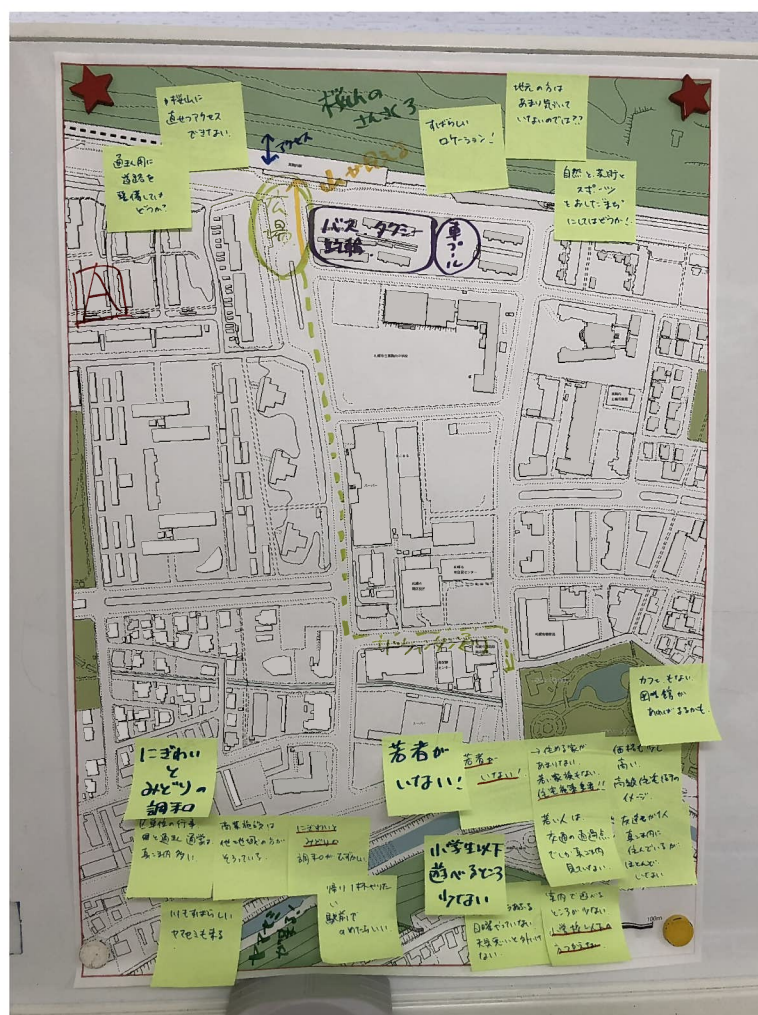
資料3 真駒内駅前地区のまちづくり

プログラム :

時間	内容	
18:30	開会のあいさつ	
18:40	情報提供 (札幌市)	・地域協議会の目的等 ・まちづくり計画の位置づけ ・南区及び真駒内地域の現状と課題
18:55	意見交換①	南区及び真駒内地域の現状・課題について
19:25	意見交換②	真駒内地域の30年後の将来像について
20:05	全体発表	
20:20	閉会のあいさつ	・事務連絡(意識調査の概要・次回のお知らせなど) ・ワークショップのアンケート記入、回収
21:00	閉会	



(1) 南区及び真駒内地域の現状・課題について 各グループの意見

[illegible]

○豊かな自然を感じられる場所がある

- ・桜山は素晴らしいロケーションであるが、地元の方はその素晴らしさにあまり気付いていないのではないか。
- ・真駒内駅から桜山、紅桜公園に直接アクセスできないのが残念である。
- ・真駒内公園のみどりは気持ちが良い、頻繁に散策をする。
- ・駅前に立つと後背に山が見えて美しい景観を形成している。
- ・真駒内川も素晴らしい。ヤマセミも来る。

○「にぎわい」と「みどり」の調和

- ・真駒内外の南区に住んでいるものにとっては、区単位の行事や通勤通学で真駒内を利用することが多い。
- ・通勤帰りに真駒内駅周辺でバスを待っている間など、一杯飲めるところがあるのにぎわうのではない。
- ・にぎわいづくりは大切だと思うが、真駒内地域の方々が大切にしている「みどり」との調和が難しい。

○若者がいない

- ・学生など若い世代が住める家（間取りや家賃など）があまりない。高級住宅街のイメージである。
- ・若い家族が住めるような家もないため、今後住宅施策は重要である。
- ・若い人は交通の通過点でしか真駒内を見ていない。学生の友人も真駒内にほとんど住んでいない。
- ・学生が立ち寄りたくなるようなカフェもない。図書館があれば寄るかもしれない。
- ・柏丘には、近年土地を分譲して若い世代が入ってきている。家をリノベーションするケースが増えている。

○小学生以下が遊べる場所が少ない

- ・子どもが遊ぶ場として、「Co ミドリ」や「ちあふる」をよく利用しているが、日曜日はやっていない。
- ・小学生以下が遊ぶことのできる場所や施設があると嬉しい。
- ・公園は天気悪いと行けないので、室内で子どもを遊ばせることができる施設があると良い。

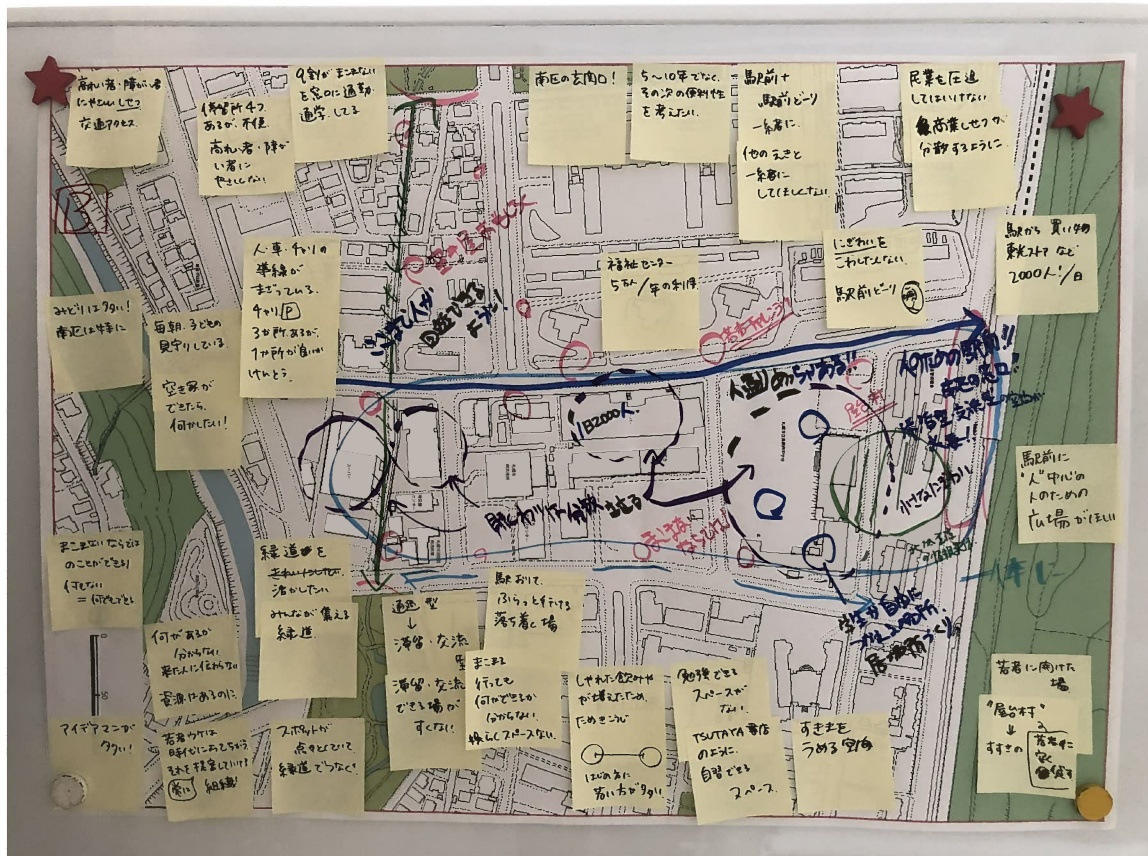
○買い物は少し不便

- ・真駒内駅周辺の住民は東光ストアかラルズに行く。
- ・商業施設は南区の他の地域の方が揃っている。

○真駒内の特性を活かし魅力を向上させる

- ・真駒内地域特有の「自然」と「芸術」と「スポーツ」を推した街にしてはどうか。

B グループ



(真駒内地域広域地図は、記入なしのため省略)

○交通アクセス

- ・バスの停留所が4つあるが、その先の交通機関への乗り換えなどが不便で、特に高齢者や障がい者に優しくない。
- ・人と車と自転車の動線が混在しており、危険である。
- ・駅前の道路では、人が乗降するため駐車している車が多い。
- ・駐輪場は駅周辺に3カ所あり、1カ所にまとめた方が良いか、検討する必要がある。

○各施設の利用が多い

- ・南区民のうち約9割が真駒内駅を利用して通勤・通学している。
- ・福祉センターは、年間5万人の利用がある。
- ・駅から買い物へ行く人が多く、東光ストアは1日あたり約2000人来ている。

○みどりが多いが活かされていない

- ・札幌はみどりが多く、南区は特に多い。
- ・緑道が少ない。また、活かされていない。
- ・みんなが集える緑道がほしい。

○子どもの見守り

- ・毎朝、横断歩道の前で子どもの見守りをしている。

○駅前通りの賑わいを大切にしたい

- ・駅前通りの人通りは多い。
- ・人が多く賑わっているため、その賑わいは壊したくない。

○駅前と駅前通りは一体

- ・駅前と駅前通りは一体として考え整備したい。

○にぎわいの分散

- ・賑わいは分散させたいため、商業施設が分散するようにしたい。
- ・今回の駅前開発において、既存の民業を圧迫してはいけない。
- ・「屋台村」をつくりたい。

○通過型の空間になっている

- ・現在は、通過型の空間になっており、滞留・交流できる場が少ない。
- ・立ち寄れる場がないため、駅を降りてふらっと行ける、落ち着く場がほしい。
- ・「隙間時間を埋める空間」があると良い。バスを待っている時間などにふらっと立ち寄れる場所がほしい。
- ・「屋台村」のように飲み屋が複数あると良い。狸小路は1丁目や7丁目あたりに洒落た飲み屋が増えたため、人が増えている。

○若者のための勉強できるスペース

- ・大学生が勉強できるスペースがない。
- ・学生にとって「まこまる」は、行っても何が出来るか分からないし、少し立ち寄りにくい場所になっている。
- ・蔦屋書店のように、立ち寄って自習できるスペースがあると良い。
- ・若者に開けた場がほしい。

○真駒内ならでのこと・場所

- ・真駒内には「何もない」と思われがちだが、逆に言えば「何でもできる」。
- ・真駒内ならでのことが出来ると良い。
- ・他の駅と同じようにしてほしくない。

○資源や考えの情報発信

- ・それぞれの思いをぶつける場がない。
- ・真駒内にはアイディアマンが多い。アイディアを実現していける場所があると良い。
- ・真駒内や駅周辺に何があるか分からない、来た人に伝わっていない。資源はあるため、それらが伝わると良い。

○長期目線での利便性を考えたい

- ・5～10年先ではなく、その先の長期スパンでの利便性を考えたい。



(真駒内駅前地図は、記入なしのため省略)

○情報発信が足りていない

- ・真駒内外から来る学生としては状況が良くわからない。

○人口や消費が減少している

- ・自衛隊員が 13000 人から 6000 人に減少している。
- ・4 校から 2 校に学校が減り、消費も減少している。
- ・上町には特に高齢者が多くなっている。

○地価が高い

- ・地価が高いので、若い世代がづらい。
- ・学生にとっては、「高く」で「不便」で「住みにくい」イメージである。

○南区の玄関口である真駒内駅

- ・真駒内駅は最終駅ではなく、南区の玄関口である。

○駅前だけでなく真駒内地区全体で考える

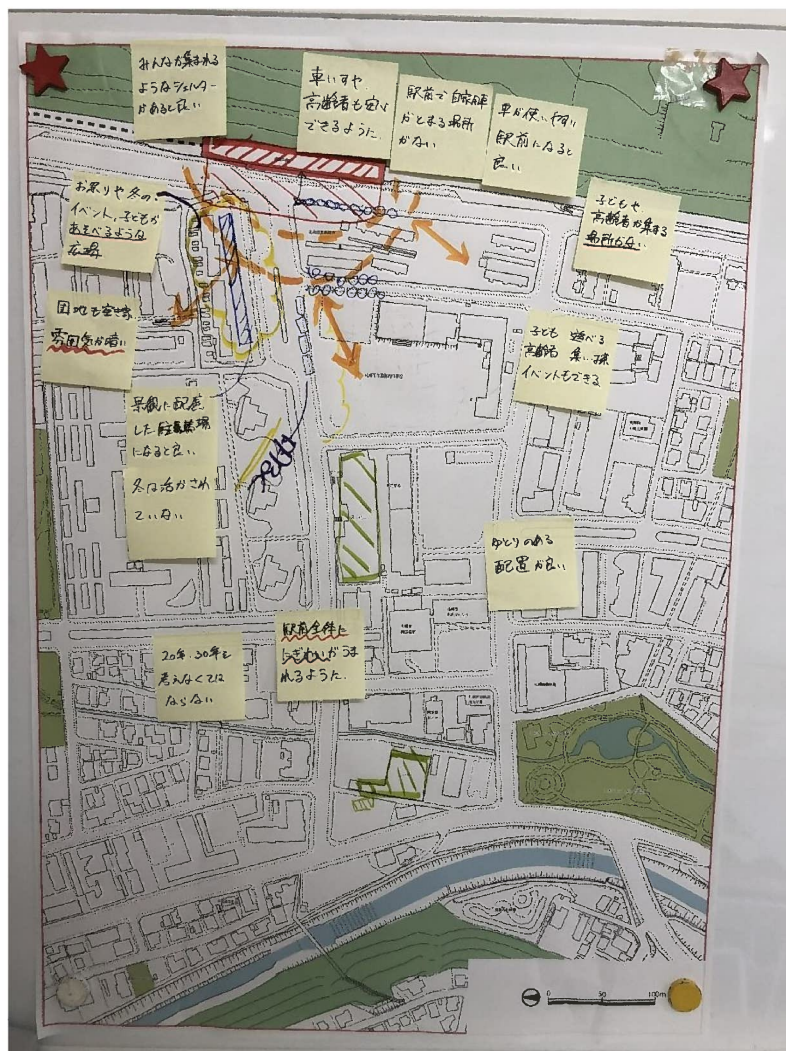
- ・真駒内駅前の再開発の検討は進んでいるが、今後駅前を考えていく際に、同様に上町や五輪団地、幸町、道路のことも一緒に考える必要があるのではないか。

○現在地域にある資源を活かして周遊を促す

- ・真駒内アイスアリーナに来た人が真駒内のまちを素通りして返ってしまう。立ち寄ってもらえるような仕掛けが必要である。
- ・スキー場など自然環境を活かすべきである。

○真駒内及び南区には魅力的な資源が多い

- ・簾舞の通行屋、エドウィン・ダン記念館などの歴史的な資源がある。
- ・小金湯やピリカコタン、定山溪などの観光資源がある。
- ・南区全体に自然資源が豊富にある。
- ・ワイナリー、ジン、日本酒、果樹などの食べ物や飲み物の魅力資源がある。
- ・他の地区には真似できないオリンピックレガシーがある。



○子どもや高齢者が集まる場所がない。

- ・子ども→遊べる、高齢者→集い、お茶
- ・イベントも出来る場所があるとよい。

○お祭りや冬のイベント、子どもが遊べるような広場があるとよい。

- ・みんなが集まれるようなシェルターがあると良い。
- ・以前は駅前でお祭りを開催していたが、なくなった。

○まちの雰囲気が悪い。

- ・団地も空き家になっている。
- ・中学校の塀とフェンスで見通しが悪い。

○景観に配慮した駐輪場になると良い。

- ・冬は活かされていない。
- ・古くなり、見た目が良くない。

○車椅子や、高齢者も安心して駅を利用できるようになるとよい。

- ・駅前で送迎に来た自家用車がとまる場所がない。
- ・今は道警官舎前、中学校前に多く停車しているが、横断歩道を渡る必要がある。
- ・自家用車が使いやすい駅前になるといい。

○ゆとりのある建物の配置が良い。

○20年、30年後を見据えて考えなくてはならない。

○駅に近い場所だけでなく、全体ににぎわいが生まれるようにする必要がある。

(2) 真駒内地域の30年後の将来像について 各グループの意見

Aグループ



○大好きな真駒内を大きくは変えないことを前提とする

- ・現在真駒内地域に住んでいる方々は、真駒内地域が大好きである。
- ・今の環境を大きくは変えず、魅力的な真駒内地域を維持しながら世代交代を進めるため、若い世代のニーズに合わせて利便性が上がると良い。

○若い人に住んでもらうために

- ・安心して子育てができるよう保育園を充実
 - ・若い人はそれなりに住んでいるが圧倒的に保育園の数が足りない。
 - ・保育園は定員で入れなく、近年子ども園もあるが、大抵空いていない。
- ・子ども遊び場の充実
 - ・日曜も開いており屋内で遊べる施設があると、真駒内地域外からも人が来てにぎわいが生まれるだろう。
- ・働く場、子どもを預けられる場の充実
 - ・近くに働く場所が少ない。働き場が近くにあり、同時に子どもを預けるところが充実していると良い。

- ・若い人が住める住宅の整備
 - ・UR 等が家族用に建設した共同住宅などが多く、民間の共同住宅が少ない。
 - ・若い人が住むことのできる間取りや家賃の部屋を整備することで、若い住人を呼び込むことができる。人が多く住むことで生活利便施設も充実していくので、商業施設なども増えていくだろう。
- ・駅前に複合施設を設置する
 - ・商業施設やカフェなどが入った複合施設が駅前にあると若者も立ち寄る。
 - ・図書館などがあると、勉強ができて学生など若い世代が多く訪れるだろう。

○アート・自然・スポーツで魅力アップ

- ・真駒内地域の豊かな「自然」とアーティストやクリエイターが多く住んでいることから「芸術」、大型スポーツ施設も揃うことから「スポーツ」を打ち出していくと良い。
- ・アーティストや学生が発表できる場として複合施設などを活用すると良い。
- ・真駒内駅に自由に弾くことのできるピアノがあると良い。

○回遊できるまちにする

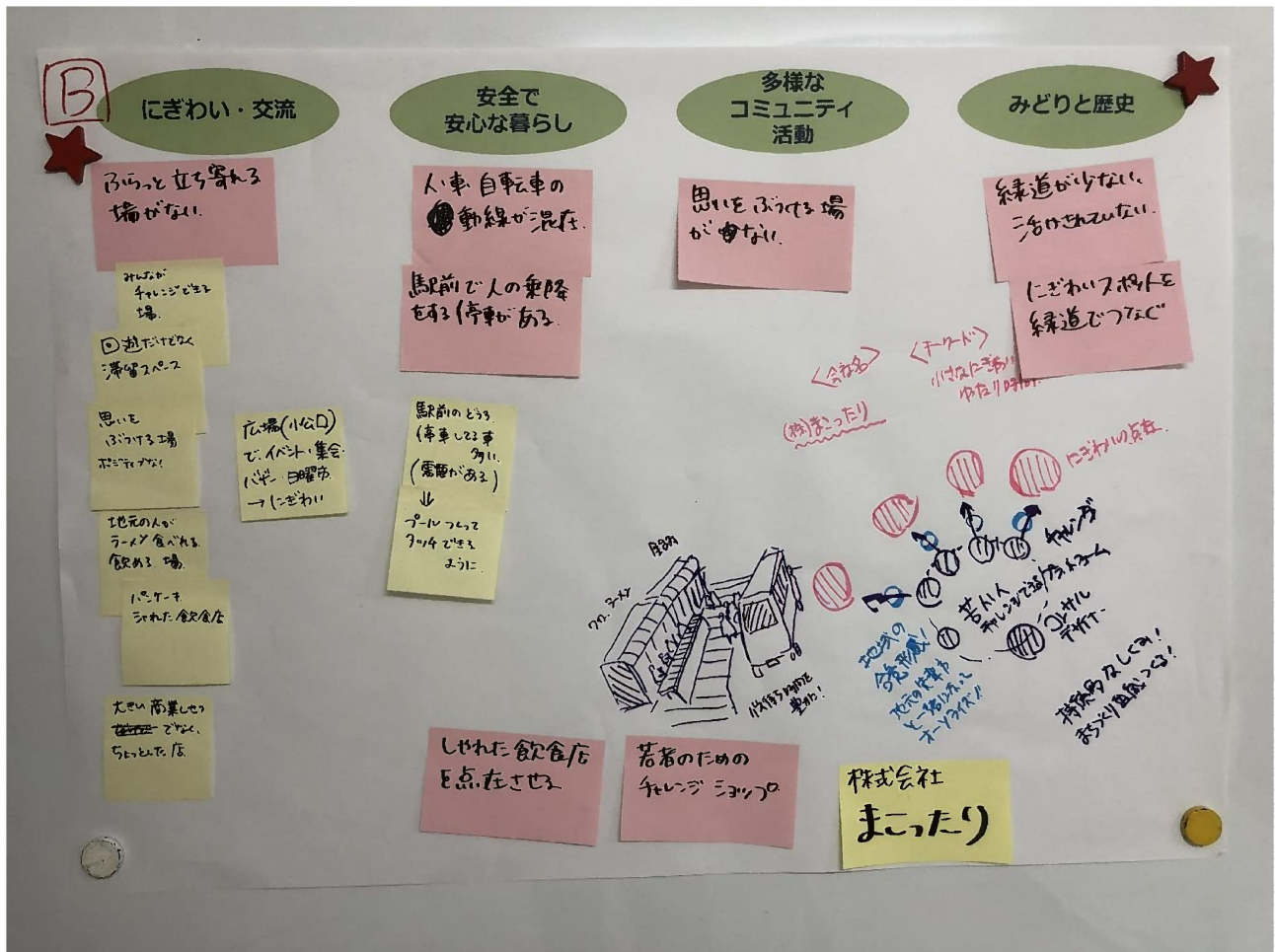
- ・真駒内駅前に複合施設を作ったからと言って、駅前だけに人が溜まるのではなく、そこからまちへ歩き回遊するような仕掛けが必要。
- ・駅前に広場を設置することで人が溜まり、そこから真駒内地域全体を回遊するようにする。
- ・麻生駅前や白石駅前のように、背が高い大きな複合施設だけが建っているような真駒内駅前にしたくない。
- ・みんなが訪れる区役所は駅前すぐではなく、少し離して歩いてもらうと良い。

○真駒内駅前の景観を大切にす

- ・駅前に立って駅方面を見た時の桜山への眺望を守るため、駅前に複合施設を建てるとしても、建築物の高さ制限があるといい。
- ・地下空間を設置し、地下道でバスターミナルに繋がっているようにしてはどうか。
- ・地下空間をつくれば、横丁やカフェが設置できる。また、冬季には地下を歩けばお年寄りも安心だろう。

○みどりや歴史を活かす

- ・真駒内公園やエドウィンダン記念公園など、みどりの中の散策は気持ちいい。
- ・真駒内地域の自然と歴史の大切な資源であるエドウィンダン記念公園へ、真駒内駅から散策を誘導する「エドウィンダン通り」を設定してはどうか。
- ・真駒内駅から桜山へアクセスできるようにし、桜山と紅桜公園も園路などで繋げると良い。



○交通

- ・人の乗り降りが多い、駅前であるため、車用のプールを作って安全に乗り降りできるようにしてはどうか。
- ・交通アクセスや動線などは専門的であるため、別機関での検討が必要である。

○南区の玄関口としての駅前空間

- ・駅前に“人”中心の、人のための広場が欲しい。

○高齢者や障がい者にやさしいまち

- ・高齢者・障がい者に優しい施設、交通アクセスが良い。

○滞留型・交流型の空間が必要

- ・回遊だけでなく滞留スペースがあると良い。
- ・地元の人がラーメンを食べられる場や飲める場、パンケーキが食べられる場など、洒落た飲食店がほしい。
- ・駅を降りてふらっと行ける、落ち着く場がほしい。
- ・バスの待ち時間など、ちょっとした隙間時間を豊かにしたい。「隙間時間を埋める空間」があると良い。
- ・みんながチャレンジできる場があると良い。

- ・ ポジティブな思いをぶつける場があると良い。
- ・ 空き家が出来たら、面白い空間として活用したい。

○にぎわいスポットの点在

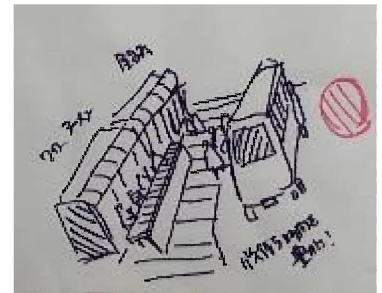
- ・ 大きい商業施設ではなく、ちょっとした店が多くあると良い。
- ・ 広場や小公園で、イベントや集会、バザー、日曜市などを行い、にぎわいを生みたい。
- ・ 洒落た飲食店を点在させたい。
- ・ 人が滞留するにぎわいスポットを点在させ、それらを緑道でつないでどうか。

○勉強できるスペース

- ・ 蔦屋書店のように、立ち寄って自習できるスペースがあると良い。
- ・ 若者の居場所や学生が自由に使える場所をつくりたい。
- ・ まこまるの中に若者が自由に利用できる場所があると良い。

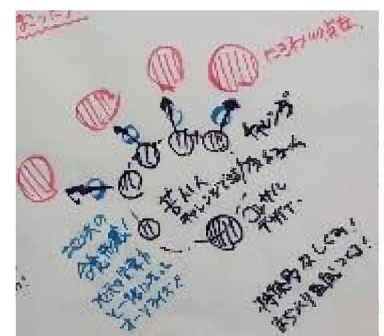
○まちづくり組織が必要

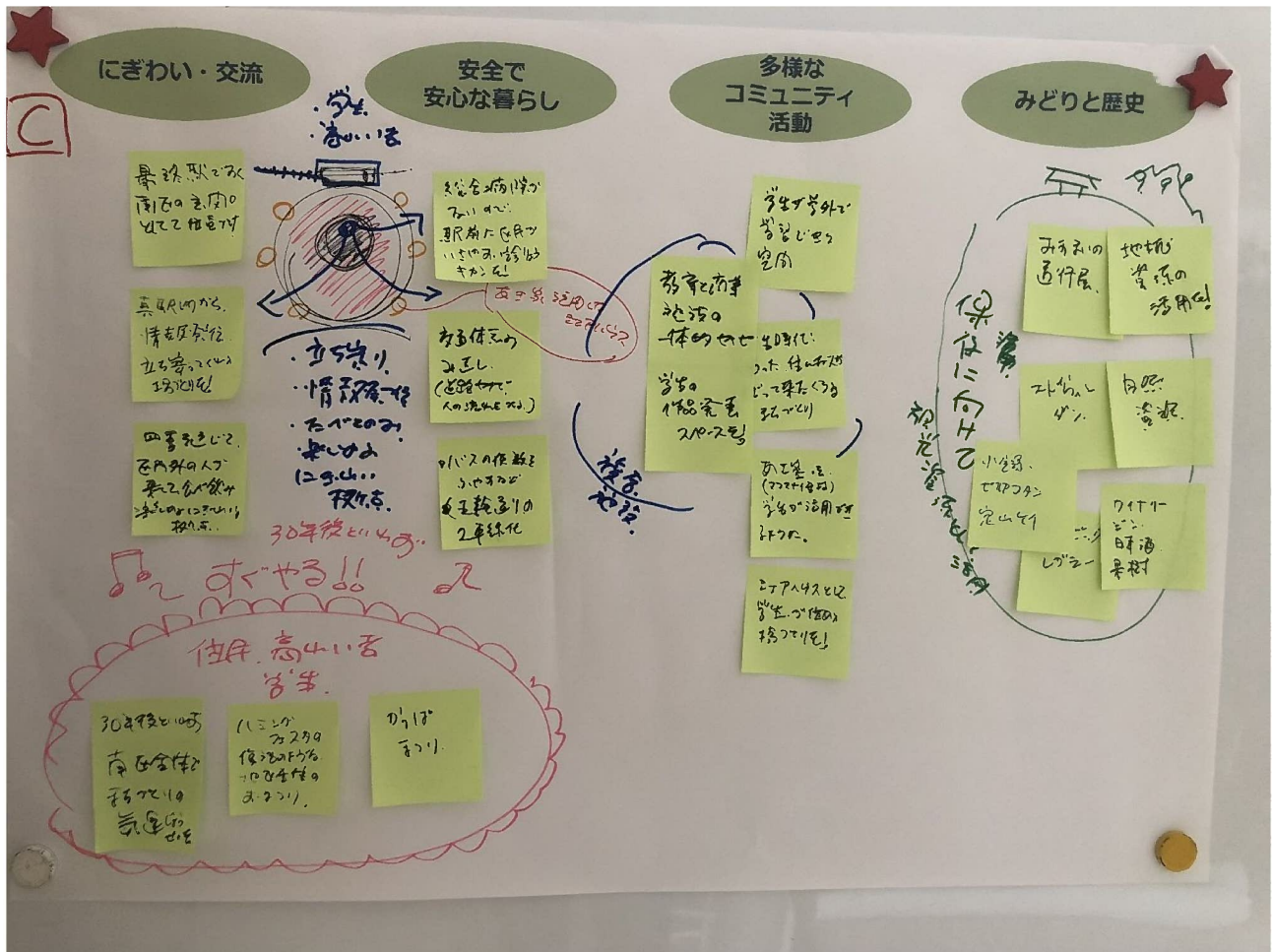
- ・ 駅前のまちづくりを持続的に推進、運営していくための仕組みとして、まちづくり組織をつくと良い。
- ・ 地域の合意形成ができる組織が必要である。地元の先輩方と一緒にあってオーソライズしつつ、若い人がチャレンジできる機会を創出していきたい。
- ・ 点在するにぎわいスポットの企画・運営を行う組織として、コンサルやデザイナーが中心となった組織が必要である。
- ・ 「小さなにぎわいを生み、ゆったりした時間をつくりだす」組織（(仮称) 株式会社まこったり）があると良い。
- ・ 若者ウケは時代によって違う。それを常に提案していける組織をつくと良い。
- ・ 真駒内や南区のまちづくりのプラットフォームのような存在が必要である。



○若者のためのチャレンジショップをつくりたい。

- ・ 飲食店を開きたい若者に、場所を安く貸し、軌道になってきたらすすきのに出店する、などの仕組みをつくれると良い。





○真駒内駅前をにぎわいの拠点にしたい

- ・四季を通じて区内外の人が集って、食べ飲み、楽しめるにぎわい拠点にする。
- ・真駒内駅から様々な情報を発信し、立ち寄ってもらえる場づくりをしていく。
- ・真駒内の玄関である本町を活力ある地区にするべきである。
- ・創生スクエアのような営業スペースや飲食できる場所を設置する。
- ・災害時のバックアップ拠点（企業立地）にする。

○道路整備など交通体系の見直しを行い人の流れを作る

- ・バスの便数を増やす。
- ・五輪通りを2車線にする。

○30年後と言わずすぐに実施する

- ・30年後を目指してゆっくりと進めず、南区全体でまちづくりの機運醸成をおこなう。できることからすぐ始めることが大切である。
- ・南区全体の人が真駒内地域に集まるように、ハミングフェスタの復活のような、区主催のお祭りを真駒内で開催する。

○様々な主体と連携する

- ・札幌市立大学や東海大学の学生の取り組みや関わりを増やすことや、UR や北海道、札幌市と

の連携が重要である。

- ・道が主導でつくったまちであるため、道と市（学校なども含め）の連携が必要である。
- ・地域住民や高齢者、学生を巻き込んで進めていく。

○今後の複合施設や公共施設に求められる機能

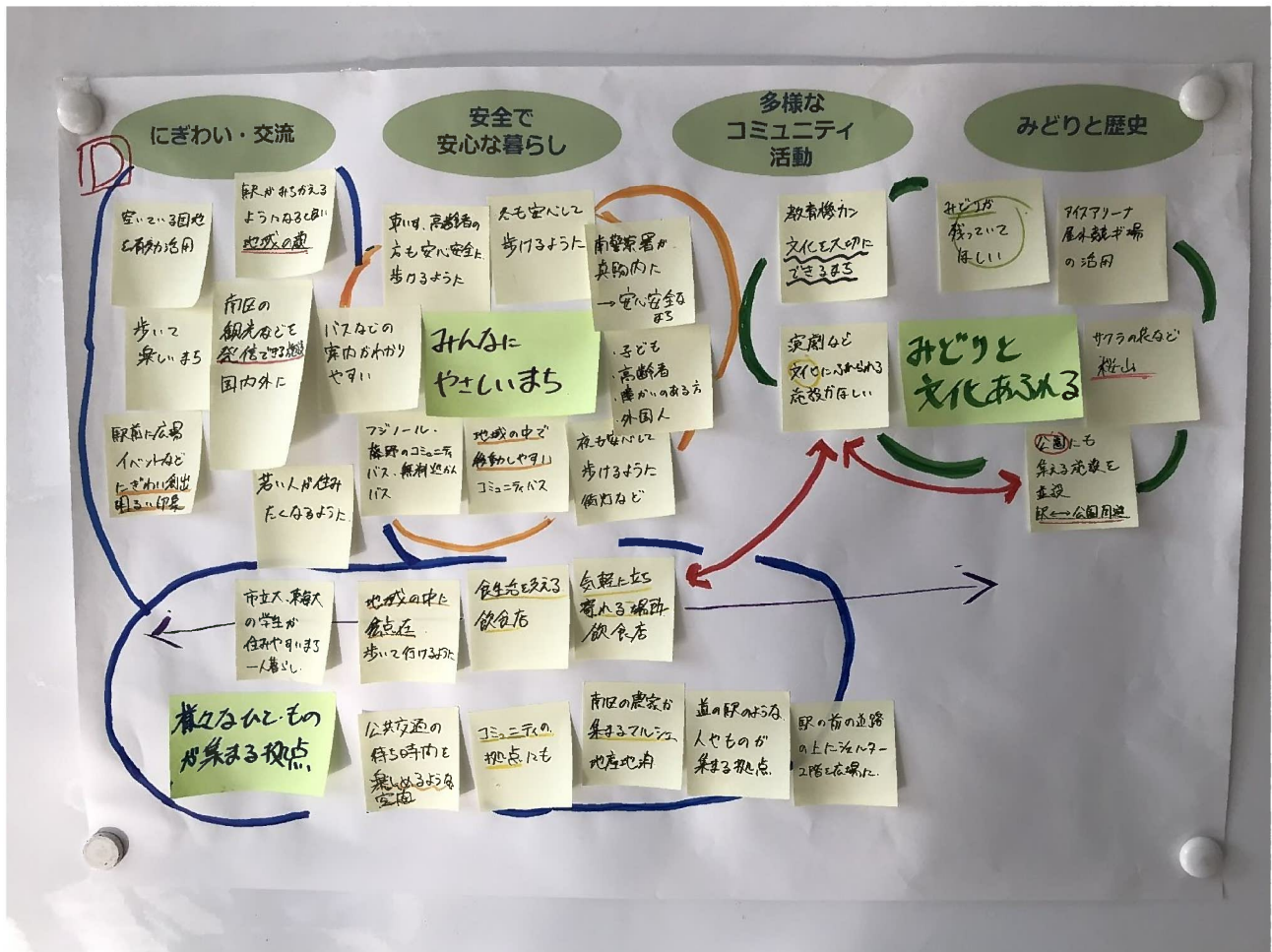
- ・カフェや図書館など学生が学外で学習できる空間をつくることで学生が集まる。
- ・学生が自分の作品を発表・展示できるスペースをつくる。
- ・総合病院がないので、駅前に区民が行きやすい診療機関を設置する。

○学生が住むような住居を整備する

- ・空き家を学生が住めるようにリノベーションするなど、活用する。
- ・学生が住めるように空き家をシェアハウスとして利用してもらう。
- ・学生が住むことで学生時代に住んだ思い出が残り、卒業後真駒内を離れても真駒内に戻ってきたくなるまちづくりを進めることが大切である。

○みどり・歴史・文化という魅力を保存しながら観光資源として活用

- ・真駒内及び南区には豊かな自然資源や歴史的資源、文化資源があり、それらの地域資源を活用する。（自然、温泉、美術館、ワイン、果樹、野菜など）



○みんなにやさしいまち

- ・子ども、高齢者、障がいのある方、外国人など、みんなにやさしいまちになるとよい。
- ・車椅子、高齢者の方も安心安全に歩けるまち。
- ・冬も幅員が確保され、安心して歩けるまち。
- ・外国人や来街者にも、バスなどの案内が分かりやすい。
- ・南警察署が真駒内にできると、安心安全なまちになる。
- ・夜も安心して歩けるように街灯などが充実するとよい。
- ・コミュニティバスなどによって、地域内で移動しやすいまち。
- ・ふじの〜（藤野のコミュニティバス）や無料循環バスのようなイメージ。

○様々なひと・ものが集まる拠点

【駅を南区、真駒内の拠点に】

- ・道の駅のような、人や物が集まる拠点
- ・駅が見違えるようになると良い→地域の顔になる。
- ・駅前面の道路の上にシェルターを伸ばし、2階を広場空間にする。
- ・駅前に広場があると、イベントなどでにぎわいが創出され、明るい印象になる
- ・南区の農家が集まるマルシェ、地産地消に拠点
- ・国内外に南区の観光や魅力を発信できる施設。
- ・公共交通の待ち時間を楽しめるような空間があるとよい。

- ・市立大、東海大の学生が一人暮らししやすいまちになると若い世代が住んでくれる。
- ・空いている団地を雑貨販売など有効活用する。
- ・歩いて楽しいまち

【歩いていける小さな拠点】

- ・気軽に立ち寄れる場所、飲食店があるとよい。
- ・地域の中に点在し、歩いていけるようになるとよい。
- ・高齢者が増えているので、食生活を支える飲食店があるとよい。
- ・人が集まることで、コミュニティの拠点にもなる。

○みどりと文化あふれるまち

- ・教育機関などがあるので、文化を大切にできるまち。
- ・演劇など、文化に触れられる施設がほしい。
- ・今後もみどりが残っていてほしい。
- ・桜山という名にふさわしいよう、サクラの木が楽しめるまち。
- ・アイスアリーナや屋内競技場の活用。
- ・公園にも人が集える施設を設置、併設することで、駅から公園の周遊が生まれる。